



## 西九州自動車道 唐津伊万里道路開通式 (北波多IC～南波多谷口IC間)

2月1日、西九州自動車道 唐津伊万里道路の北波多インターチェンジ (IC、唐津市)～南波多谷口IC間の4.8キロが開通し、南波多谷口ICで、国土交通省のほか関係者など約200人が参加し、記念式典がありました。本市にとって待望の福岡都市圏とつながる初めての高規格道路で、伊万里市と福岡市間の所要時間は4分短縮され、74分となります。この開通により、今後はさらなる福岡都市圏からの観光客の増加や物流の円滑化、伊万里港の活用促進、地域産業の発展などが期待されます。式典後は、伊万里中学校プラスバンド部の演奏や南波多保育園児による歌などが披露されました。



1月25日、開通記念ウォーキングが行われました



伊万里中学校プラスバンド部の演奏が開通式に花を添えました



『トラックさんいってらっしゃい』と元気に声援を送る南波多保育園児



### 人のうごき

平成27年2月1日現在

- 人口 56,879人 (－55)
- 男 27,237人 (－23)
- 女 29,642人 (－32)
- 世帯 22,707世帯 (－20)
- ( ) は前月比

### 広報 伊万里 2015-3

- 発行日／平成27年3月1日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係  
(0955)23-4313 (ダイヤルイン)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町 1355 番地 1
- 伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／株式会社 三光

広報担当者にとって、毎月20日前後は、翌月号の『広報伊万里』の校正に追われる時期です。そんな今年1月のある夜、隣町で鳥インフルエンザ感染の疑いの一報が入り、近隣自治体として協力するため、私も交代制の第1陣で出動しました。夜10時すぎに現地の待機所に着くと、問診や防護服支給を待つ関係職員の長蛇の列が。底冷えがする中、未明に検査結果が判明するまで、異様な緊迫感に包まれていました。感染が確定すると、まず県や団体の職員などがバスに乗り込んで出発。私は待機していましたが、作業が遅れ、夜明けに第2陣も到着したため、やむなく帰宅となりました。出勤した職員は、気温マイナス3度という過酷な状況で、必死に作業したといえます。同僚によると、「現場は壮絶。1回のガス注入では息が止まっていけない鶏もいた」そうです。養鶏農家も断腸の思いだったと拝察します。鶏たちの鎮魂のためにも、二度と発生しないことを祈ります(拓)

編集室から